

「土岐くらしのラボ」がスタート！

今年の2月から、広報ときや新聞の記事、チラシや市内の施設に貼ったポスターなどで広く周知をしてきました「土岐くらしのラボ」。3月中旬には4つのテーマの第1回ワークショップが開催され、活発な話し合いが行われました。

この「土岐くらしのラボ」は、第六次土岐市総合計画の基本目標「協働の仕組みづくり」の施策の一つとして、市民と行政が協働してまちづくりを行う仕組みを構築し、市民参画機会の創出、人や組織の醸成、活動を継続する体制づくりを展開するために始まったプロジェクトです。土岐の豊かな暮らしをつくるための5つのテーマに対して、市民がワークショップやそこで生まれた活動を通じて答えを探します。

- ① 認知症の方とふれあう暮らし
- ② ママにやさしい暮らし
- ③ うつわを楽しむ暮らし
- ④ 自然で遊ぶ暮らし
- ⑤ 地域と生きる暮らし

の5つです。

ちなみに各テーマにおけるワークショップ参加申込者の男女の比率は、①②③は女性が高く、④⑤は男性が高いです。テーマの名前で見ると、例えば②はどうしても参加者はママに限られると思われがちですし、④もどちらかといえば男性のイメージがあると思います。しかし、ママにやさしい暮らしを実現させたいと願うパパや、土岐市の豊かな自然をアクティブに楽しみたい女性の参加ももちろん大歓迎です。先入観で二の足を踏むのではなく、興味のあるテーマがありましたら、どんどん参加してみたいかがででしょうか。性別に関わりなく、活発な意見交換や提案をすることで、この「土岐くらしのラボ」はもっと有意義な場になります。今からでも参加可能です。希望する方はぜひまちづくり推進課まで連絡ください。



〈他人事じゃない!? 怖～いトラブル〉

消費生活のお話

まちづくり推進課(内線185)

4月1日より

ガスの小売全面自由化が始まります

今回の制度改正による大きな変更点は、都市ガスの小売事業が自由化され、事業への新規参入が可能になり、消費者が自由に契約先を選ぶことができるようになったことです。

先に行われた電力自由化の際、自由化に便乗したトラブルによる相談が増えました。今回も同じような事態が予想されます。

まずは、自分の現在の契約内容を必ず確認しましょう。ガスの種類には都市ガス、LPガスなどがあり、供給形態が違います。いずれのガスを利用しようかと、契約の変更が本当に必要なか、メリットがあるのかなどをよく検討して判断しましょう。ガスの自由化を理由に、契約の変更を迫ったり、機器の購入を強要する事業者には注意が必要です。

電力・ガス取引監視等委員会では、ガスの小売全面自由化に関する消費者向けのQ&Aをホームページ上で公開しています。不明な点がある場合は、参照ください。



ガスの小売全面自由化に関する消費者向けのQ&Aホームページ

消費生活相談窓口

日時 月～金曜日 午前9時～午後4時(予約優先)

場所 市役所1階 まちづくり推進課

※相談には、できるだけ契約者本人がお越しください。

